



転校生は
160000000
cm

soryuu4.S20

とある学校での
ある日の出来事：

今日、このクラスに
新しい仲間が増える
ことになりました。

転校生マジか!?

くものした だいち
雲下 大地

そんな噂、全く
なかったよね…?

何の前触れもなく、
彼女はこの学校に
やってきた…



えっと…。入って来れ
ないでしようから、ちょっと
だけこっちに近づいて
ちょうだい

はーいっ!



!?

な、何…?
今の地震?

地震なのか…?
地面が下がったって
感じだったぞ…?

……

じゃあ紹介するわね。
今日からこのクラスで
一緒に生活することになった

…?
!?





向こうに見える
あれが……。転校生？
嘘だろ……。



きわなみ そら
極並 宙と言います。
好きな授業は家庭科です。

よろしくお願いします。



きわなみ そら
極並 宙
身長16000000cm



極並さん。
そのままできるだけ
動かずに話を聞いてね

はい……

サマー……



先生はそれから、極並かのしよが然さもない
いかのように、話を進めていった。
そして、いつも通り1時間目の
授業が始まる……。



一時間目は体育
なんだけど、今日は運動会の
種目分けを行います。

まず、最初に男女の二人三脚から
決めますね。これ、誰もやりたがら
ないからくじ引きで最初に決め
ることになっているの。

雲下君から引いてもら
おうかしら。こっちが男子
のくじね。



うわっ、一発目から
出てんじゃない。相変わらず
運ないな雲下。

さっそく決まったわね。
雲下君、一組目と。
はい、次ドンドン引いてって



あっ...



サッ

フッ



ああ、ほんとだ...
確か余ったのは
宙さんの分の...



はずだけど...



よし、これで全員が
引き終わったわね。

あれっ、でも一番の女子が
まだ出てきてないじゃない。
隠してないで出てきなさい。

先生、残ってるそれじゃ
ないんですか？





うわあ!?



ゴールを大幅に
超えて、宙・雲下ペアが
ダントツの1着。
おめでとございます。



このできごと
二人三脚をきっかけに
宙に懐かれた雲下…。
この日を境に彼の人生は
大きく変わっていくこととなる。



やったね
雲下くん!
私達一番だよ!

次の日の朝：

なんか外暗いな…？

家の中にも
誰もいないし…。
何がどうなってるんだ？

外にも誰もいないし
なんか気味が悪いな…。

おはよう
雲下くん！

一緒に学校行こ

うわあ!?



一緒に学校行き
たいなと思って。
迎えに来たんだ。

グッ...



極並さん：!?



まさかだとは思うけど、
女の子からの誘いを
断るわけないよね？

あ：
うん：

ありがとう。じゃあ、
お礼と言っはなんだけ
なでなでしてあげる。

遠慮しなくて
いいから

はーい
なでなで

ドクッ

ドクッ!!




雲下くん聞こえる？
先生だけど



あ、切れた……






手…、
繋がらない？



え…？




もう、女子から
握らせるつもり？

仕方ないん
だから



それじゃ、学校行こっか



でも、そういう
恥ずかしがる
ところも嫌い
じゃないよ



うわあ…!?

学校で手つないでるところ見られると

色々噂されちゃうから
念の為一回手を離そうか



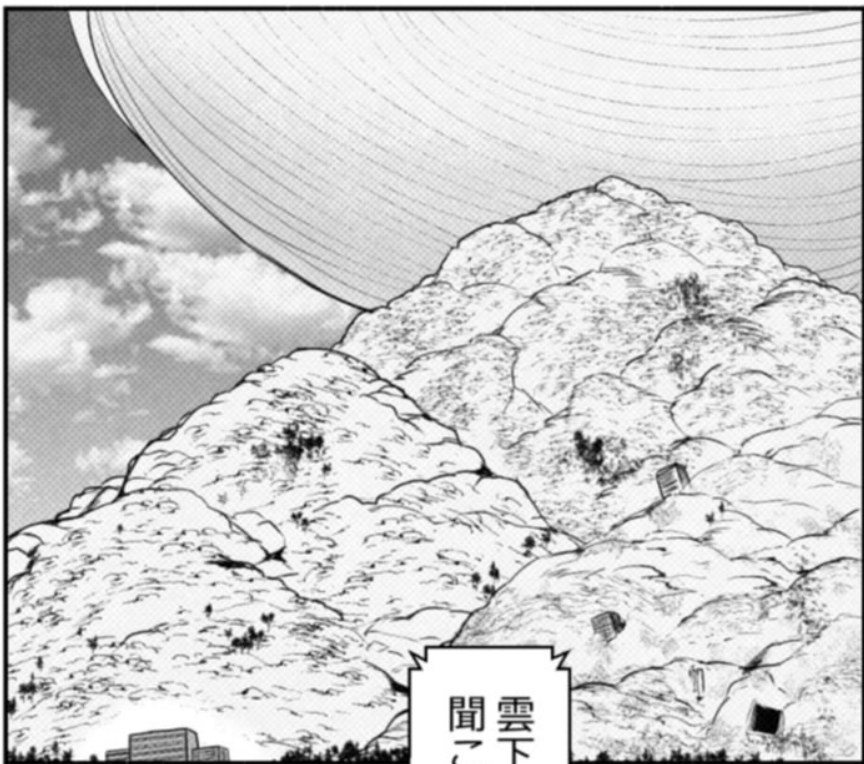
よしっ。
着いたよ
雲下君



明日からオンライン
授業を学校でやるから。
今日は学校休みね。

なんでオンライン
なのに……。
て、また切れた。

へえ、今日学校
休みだったんだ

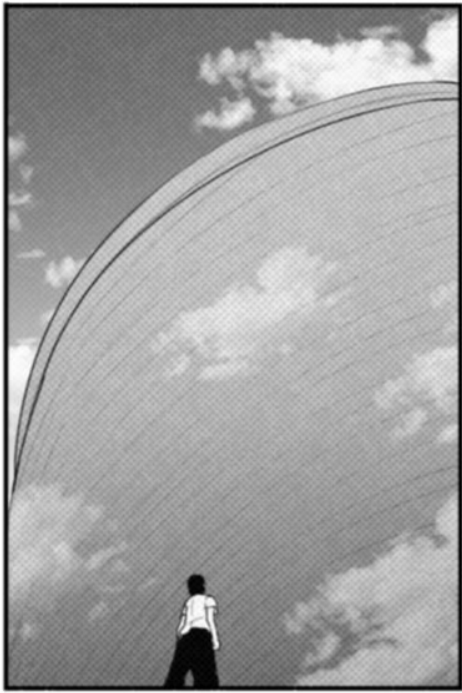


雲下くん
聞こえる？



は、はい……。







一分後……

ちよっと!!全然、
持ち上げて
くれないじゃん!!

何してんの?
黙ってたら分らないよ。
あ、もしかして…!!

服が邪魔だとか言い訳
しようとしてるでしょ。
私分かってるんだから



ドザッ

そんなこと言わせない為に
雲下くんには服の中に入れて
持ち上げてもらおうかなと
思うんだけども…

んう…でも勝手に
こっちも決めつけすぎてる
ところもあるよね…

だから恥ずかしいけど
特別に私の体重ぐらいは
教えといてあげる



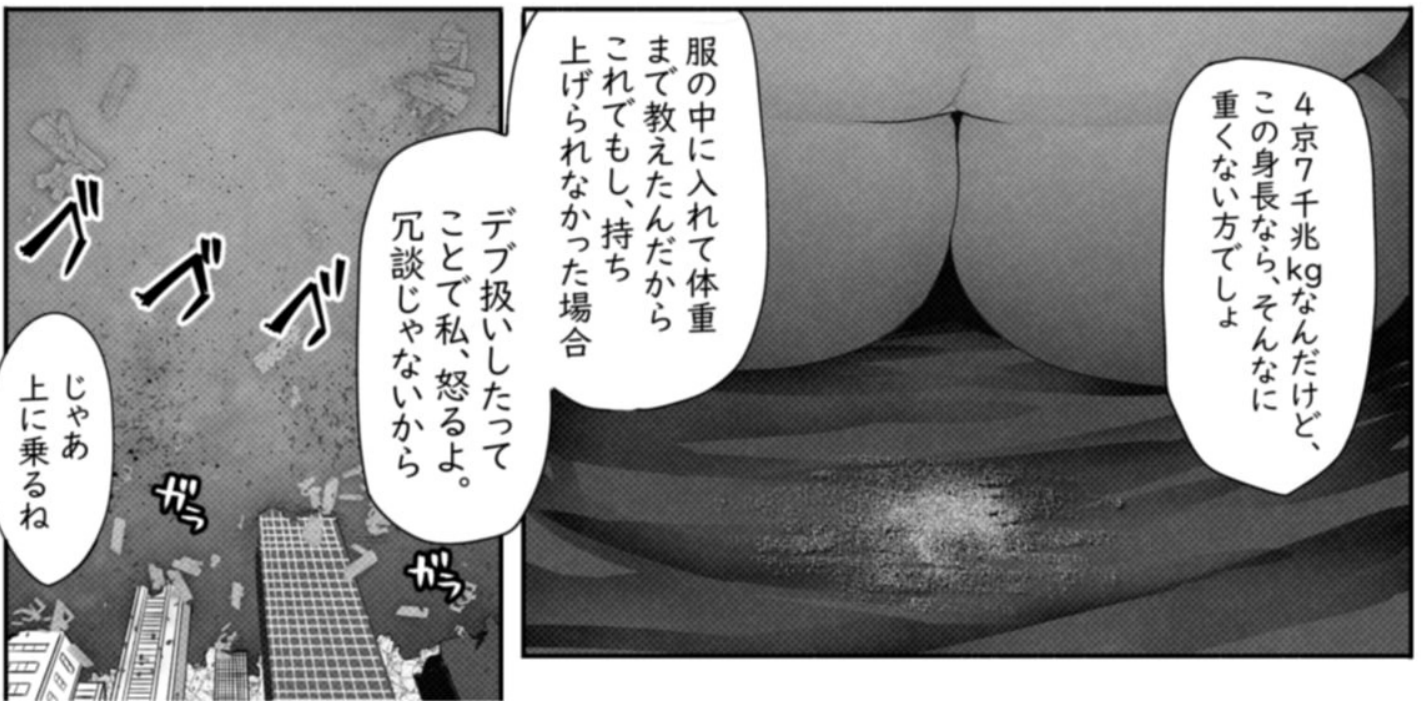
4京7千兆kgなんだけど、
この身長なら、そんなに
重くない方でしょ

服の中に入れて体重
まで教えたんだから
これでもし、持ち
上げられなかった場合

デブ扱いしたって
ことで私、怒るよ。
冗談じゃないから

ブ
ブ
ブ

じゃあ
上に乗るね





てえーッ!!
これでも全然持ち
上げてくれないじゃん!?

びびくない!

ズン



どうせ私なんか
運動もできない

ただのデブだって
思ってるでしょ

そんなに馬鹿にするん
なら私でもできるってとこ
見せてあげるから



ガッ

ガッ

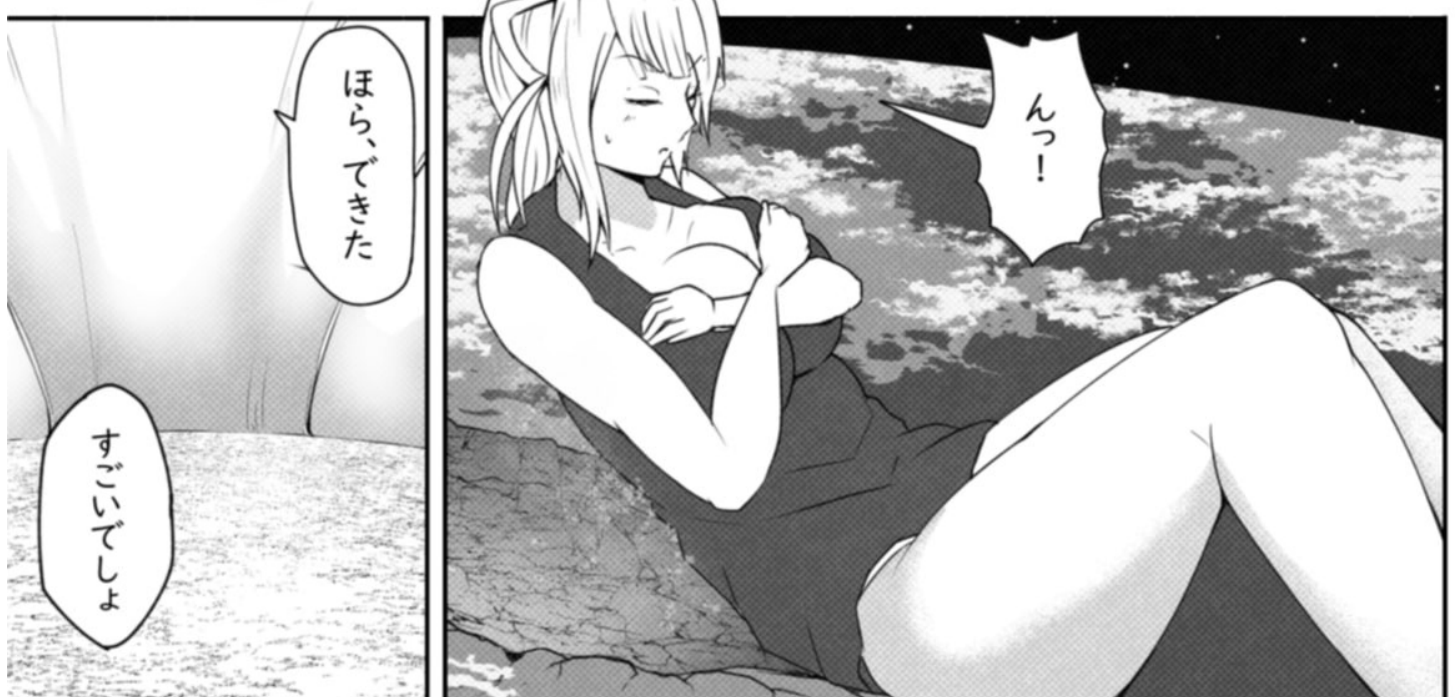


今から腹筋やってあげる。
ちゃんと見ててよ。



腕立てできないまま
終わっちゃったら

ただ恥ずかしい
姿晒しただけに
なっちゃうし
それは嫌だもん



んっ!

ほら、できた

すっごくしょ



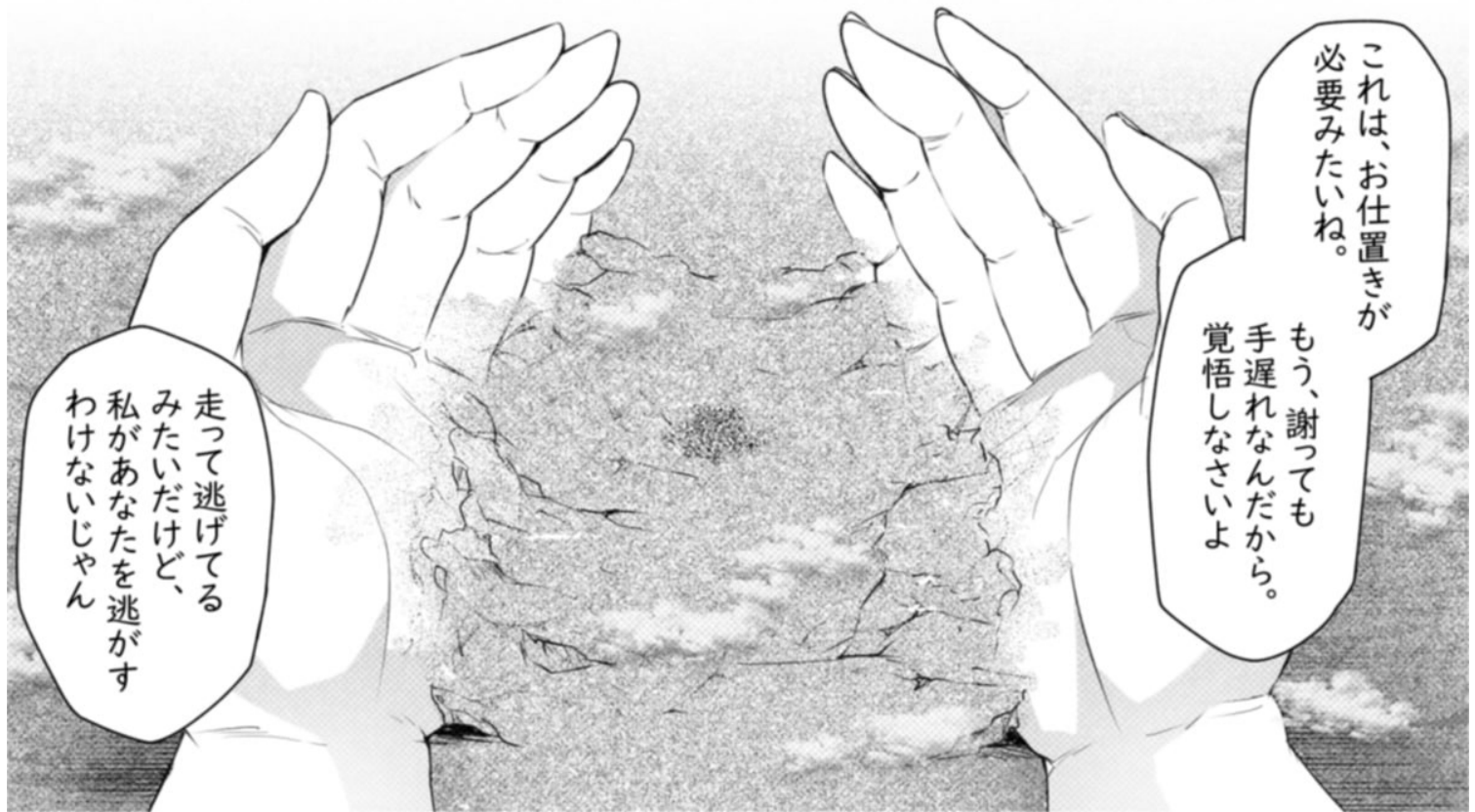
そんな影に
隠れてたら見え
るわけないでしょ!!

もしかして私のこと
からかってんの?どれだけ
人を怒らせれば気が
済むわけ



て、ちゃんと
見てくれて
ないじゃん!?

おっ!?



これは、お仕置きが
必要みたいね。

もう、謝っても
手遅れなんだから。
覚悟しなさいよ

走って逃げてる
みたいだけど、
私があなただを逃がす
わけないじゃん



あ、諦めた。もう雲下くん。本当可愛すぎ。

そんな不安そうな目で見つめないでよ。



まだ逃げてるの？
雲下くん……？

存分に逃げ回って
くれていいけど、どこまで
行っても私の手のひらの
中なんだよね



そんなに心配することないって、

ちゃんとお仕置きは
やってあげるから

とは言っても
これからやることは

ただ手を閉じる
だけなんだけどね。
それもゆっくり丁寧に



はい、じゃあ閉じていくね。
ほら、だんだん暖かく
なってきたでしょ。

これから光が届か
なくなる代わりに
私の温もりをあなたに
届けてあげる。

これは愛のある
お仕置きだから。

私の匂いと温もりに
包まれて雲下くんは
存分に反省するの。
分かった？

特製のマッサージはどう？
ちよっと痛いかもしれないけど
雲下くんの心をきつといい方向に
導いてくれるはずだよ

はい、お疲れ様。
どうだった？

見たところちやんと
反省もしたみたいだし、

じゃあ、ご褒美
あげないかね。

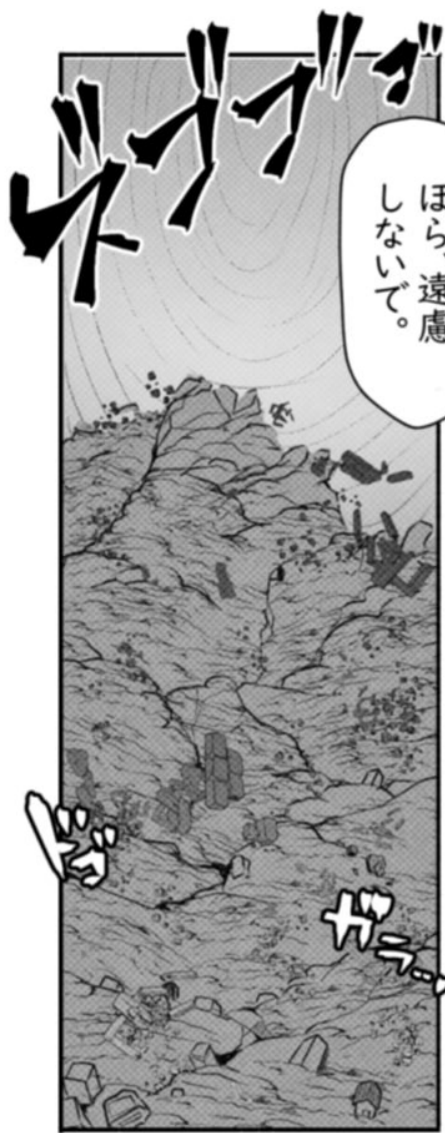
パンツ見せて
あげる♡

これは信頼の証
だから存分に見てく
れて構わないよ。

好きでしょ？
こういうの？

ガサ...

ガラ...



ほら、遠慮
しないで。



腹筋は見えてなかった
みたいだから、もっと近くで
見ていいよ。



触ってもいいよ。



指先一つにすら
抗えないなんて
可愛いを通り越して
可哀そう。
ここまで
弱いんと、
私なしたと
生きられ
ないんじゃない？



もう、一緒に暮らした
方が良い気がする

じゃないと雲下くん
弱すぎて生活
できないじゃん

そうだなあ：
手の甲に住まわせ
てあげる

キョビ

キョビッ

ほよん

ぶるん

ぶるん


ここなら私もいつでも
見れるし住むには丁度
いいんじゃない？

んっ…？あれ…？なんか
また、逃げてるように見え
るけどどうしたのかな？


あ、カップルが
浜辺で追いかけてっ
するあれね。

気が早いんだから
雲下くんは






追いかけても
いいけど、結局
どこまで走っても
ずっと私の手の上
なんだけどね



それに、追いかけるのは男の子の方でしょ。

だからあなたの方から捕まえに来て。



それじゃあ雲下くん。

私の唇を捕まえてごらん



ブゴ

ガラ



アハハッ！
唇まで近づいて
もしかしたら
食べられる、とか
思っちゃった？

そんなことする
わけないじゃん



びるん

だって雲下くんと
遊ぶの楽しいん
だもん。

だからさ
……

びるん

逃げ道なんて与える
わけないじゃん



ク
ク

ク
ク
ク



雲下くん…。
私あなたのこと好き
だよ。だって…。

雲下くんは私と一緒に
二人三脚をしてくれた。
初めて仲良くしてくれた
人なんだもん

ジャラララ



ズツツ

ズツツ



ズツツ

ロにはしなかった
けど、本当は
すごく嬉しかった

ムギュー

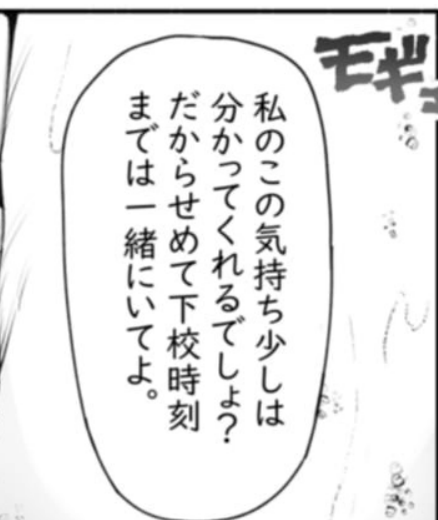


お願いだから…



ムギュー

ムギュー



ムギュー

私のこの気持ち少しは
分かってくれるでしょ？
だからせめて下校時刻
までは一緒にいてよ。

ムギュー



その後も雲下は
宙の相手を続けさせられ



しかし、それでも時は進み
約束の下校時刻が訪れる。

千びん



永遠とも思える時間を
彼女と過ごすこととなった。



もう・・・



家がないんだけど・・・



帰れるとは
言っても・・・



今日はありがと、
雲下くん♡
また明日ね



良かった生きてたのね。
家はロボットで運んできたから
今夜はそこで寝泊まりして。



雲下くん、
大丈夫？

な、なんとか・・・

ツ？

ゴザガザ

ガキーン



さっさと
休もう・・・



もう今日は・・・
つかれたし

何でもいや・・・



は、はあ・・・

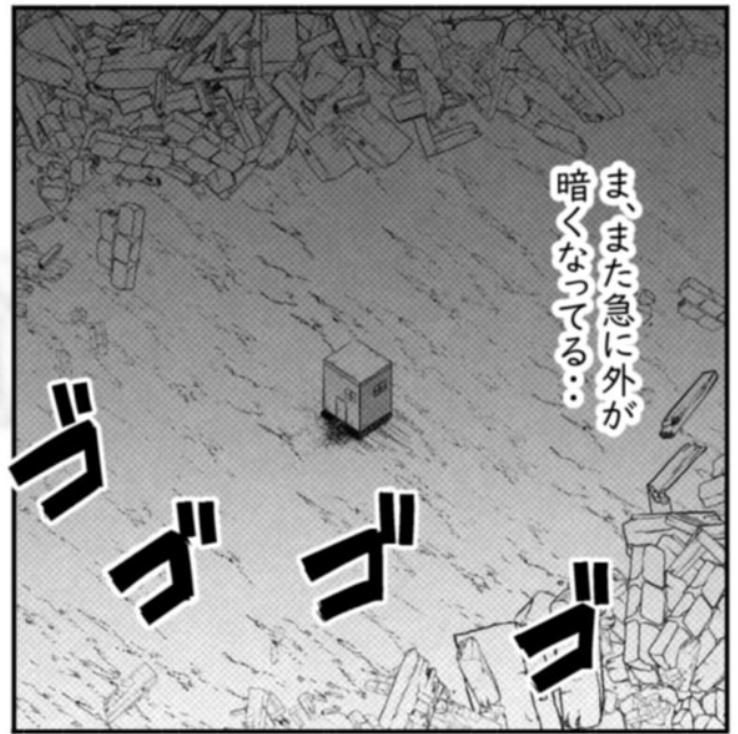
また切れた・・・

ガキーン



ドカン

ピョフ

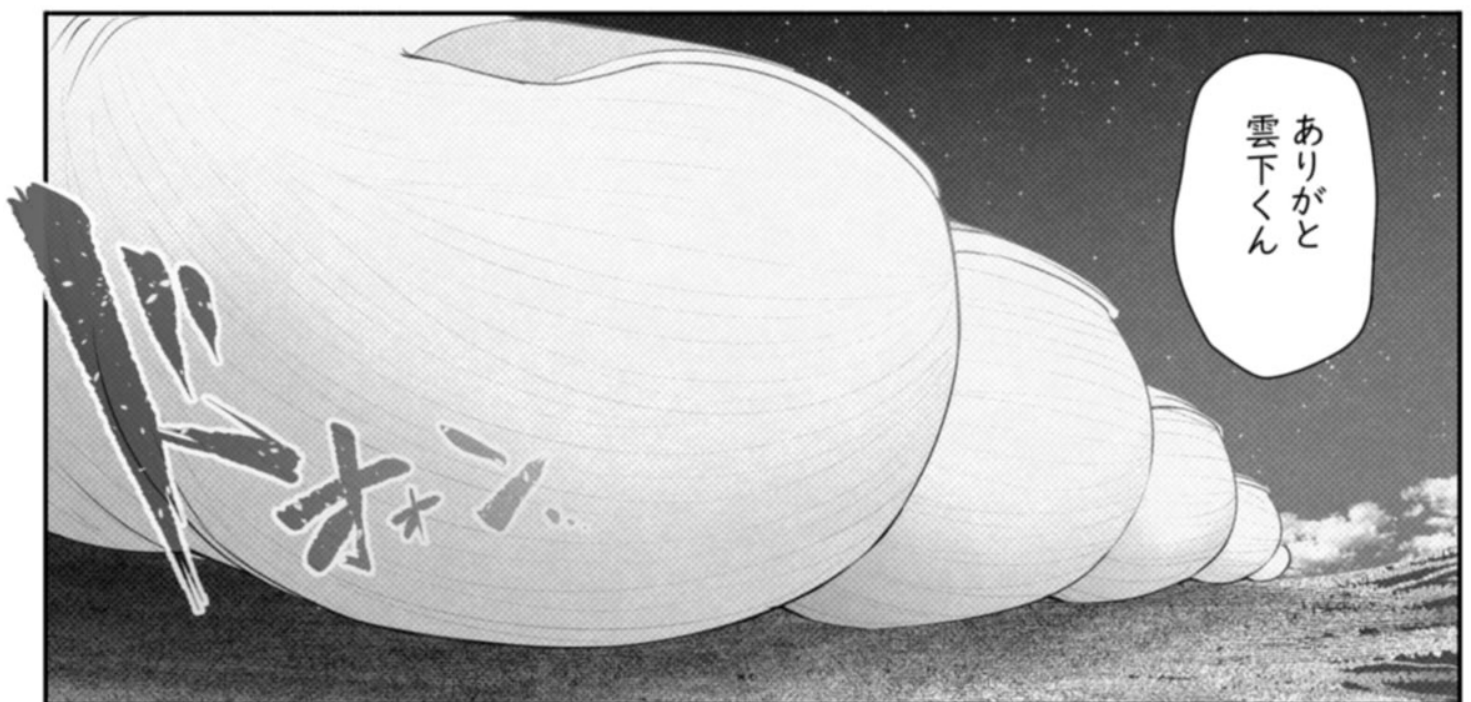




私を一人に
しないで



わ、分かったから
踏み潰さないで…!



ありがと
雲下くん

怒っちゃって
ごめん。

人の優しさに触れたの
初めてだったから…

ゴッゴッ

一緒にいてくれるなら
私、もう怒らない

それで…そのせつかく
一緒になったし、やりたい
ことがあるんだけど…

ズン

